



岡本 ひとし

一、当初予算に向けた町政運営 方針について 二、男女平等社会の実現にむけて

町政運営方針について

問 ポストコロナを見据え国・府と連携の下、住民生活の安全を図るため全力を尽くすと言われるが、評価・課題を問う。

答 新型コロナウイルス対応を最優先課題とし、ワクチン接種対応をはじめ、給食費の無償化、いきいき商品券事業など、地域経済や住民生活支援に取り組んできた。

問 次年度へ向けた取組と実効性を問う。

答 7つの基本プロジェクトを中心とし、公共施設再編整備、乗合タクシーの導入、脱炭素の地域づくりなど、今後のまちづくりに必要な基盤構

築に取り組む。さらに、

土地利用の在り方の検討や関係人口や定住人口の拡大に取り組む所存である。

問 基本プロジェクトについて熱意だけでは理解を得にくいと思われる。

住民への丁寧な説明が必要と思われるが、確約できるか問う。

答 可能な限り説明させていたただく。

問 他の市町村との連携

した事業推進が求められているが、その先にあるのは合併問題と認識するが、検討するのか問う。

答 財政の厳しい町村においては、連携強化の方

策も必要であり、現在、

議論をして行く最中であり、今後の行政運営の在り方については考えていかなければならないと思う。

男女平等社会の実現

問 困難な課題を抱える

女性への支援に関する法律（2024年4月完全施行）を見据えた能勢町男女共同参画プランの位置づけを問う。

答 関係機関と緊密な連

携と相談体制を強化し、必要な方に必要な支援が届けられるよう努める。

一般質問



難波 希美子

一、脱・減プラスチック 二、選挙の投票率向上 三、ハザードマップ

脱・減プラスチック

問 プラスチックごみゼロ宣言・おおさかマイボトルパートナーズになったかどうか。

答 減プラスチックに取り組んでいるが、検討していく。

問 会議等に提供するペットボトル飲料は、ほとんどの人が飲んでいない。止めてはどうか。

答 止めるメリットも理解するが、リサイクルで対応したい。

選挙の投票率向上

問 投票率向上の施策は。

答 高校出前講座、不在者投票申請、今年からはLINEを活用する。

問 障がい者対応を問う。

答 個人情報のこともある。今後LINEなどでも検討してみる。

問 選挙割の活用を助けるために、投票済証明書を全員に発行できないか。

答 営利企業のための発行は考えていない。

ハザードマップ

問 5年前の災害とハザードマップとの整合性を問う。

答 正確な状況は把握していない。

問 土砂崩れしている場所が警戒区域にもなっていない。町はハザードマップで案内できないのか。

答 町の範疇ではないと考える。

問 地区別ハザードマップ作成の助成は。

答 協働交付金を使うことは出来る。

おおさかマイボトルパートナーズ・・・法人や行政が連携してマイボトルの推進や給水スポットの普及に取り組む

選挙割とは・・・投票した人が、投票済証明書などの提示により、お店などで特典を受けられる

地区別ハザードマップとは・・・地区が主体となって個別に作る詳細なハザードマップ